

寒さのピークは通り過ぎた感がありますが、まだまだ寒い日が続く、春の訪れが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？  
手洗い、うがいの励行で風邪の予防に努めましょう。



## 臨床実習におけるログブック記載について

1月から、医学科5年生のクリニカル・クラークシップおよび4年生のポリクリが始まりました。実習にあたり、学生にはログブックを配布しています。ログブックの語源は「航海日誌」であり、その時々状況を記録することで、振り返りに有用な資料となり、技能や技術の発達を促すツールになるとされています。全国的にも導入例が多く、本学でも2012年から運用しています。この度、記載項目や運用に関するこれまでのアンケートやご意見を踏まえ、内容の改訂を行いました。また、学生には実習前説明で、教員にはFDなどで、その内容や運用に関する説明をしました。

- 学生の皆さんは、各診療科での実習内容(学習事項や経験項目)の記録と自己評価、また振り返りを踏まえたステップアップのため、随時ログブックに記載をする様、お願いします。また、積極的に指導医から評価やコメントをもらう様にして下さい。
- 教員の皆様におかれましても、学生の形成的評価のため、また厳しくも温かい指導記録のため、ログブックの記載をお願いします。

これらログブック記載や運用についてご質問やご意見等ございましたら、医学教育センターまでお願いします。今後も皆様と一緒により有用なツールになるよう取り組んでいきたいと思っております。

## Post-CC OSCE全国トライアルについて

医師国家試験のあり方は近年変化しており、ご存じの通り、2018年の医師国家試験から出題数が減り、日程も3日間から2日間になっています。これに並行して、技能の試験についても検討がなされ、「全医学部で統一的な臨床実習終了時のOSCEを導入する準備が進められており、その達成状況を確認してから、改めて議論していく」とされています(医師国家試験改善検討部会より)。臨床実習終了時OSCEは現在「post-CC OSCE」と略され、既に独自に卒業前OSCEを行っていた大学を含めて、2017年から「医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)」の取りまとめによりトライアルが開始されました。2018年は全国40大学の参加募集を行い、2019年には全国89大学全体でのトライアル実施が予定されています。去る1月24日に東京行われた機構主催の意見交換会に行ってきました。トライアル参加大学からは既に数多くの報告や意見が寄せられており、場所・評価者・模擬患者・準備学習時間等の確保など、克服すべき課題は数多いようです。

本学は今のところ2019年の全国トライアルより参加予定ですが、学生・教員の皆様には可能な限り早めに情報をお伝えし、実施に向けた準備を進めていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



## 第112回 医師国家試験が開催されました。

第112回 医師国家試験が、2月10日(土)～2月11日(月)の2日間にわたり、安田女子大学(広島市)にて開催されました。今回から試験日程が3日間から2日間に短縮されました。2月9日(金)の朝に、谷澤医学部長、杉野病院長、篠田学生委員長、白澤医学教育センター長から激励の言葉を頂き、バス3台に分乗して本医学部を出発しました。医師国家試験対策委員の学生(3～5年生)と医学教育学講座の教員も医師国家試験に帯同するため、現地入りしました。各試験日とも、午前7時過ぎには、試験会場に向けてホテルを出発しました。試験会場へ帯同した下級生は、駐車場の確保や、お昼の弁当の準備等を行いました。試験を終えて、全員ホテルに戻ると、教員や下級生が出迎え、声かけやお菓子、マスクの配布を行いました。冬真っ只中の寒い日が続きましたが、幸い、体調を大きく崩した学生はいませんでした。

関係者の皆様のご協力により、無事に全員、受験を終えることができました。有難うございました。そして、6年生の皆さん、国試、お疲れ様でした。皆さんの元に吉報が届くことを祈念しています。



## 2年生を対象とした自己開発コース前実験体験コースを開催しました。

自己開発コースの準備コースとして、基本的な実験手技の習得を目的とした実験体験コースを2年生を対象として開催しました。今回は、医学教育学講座が主催し、講義棟B 4階実験室にて、ウェスタンブロット、細胞培養に関して行いました。参加者は、学内および海外の大学の研究室で自己開発コースに参加する学生から構成され、10数名が参加しました。皆、モチベーションが高く、熱心に取り組んでいました。実験体験コースは、実験操作の習得に重点を置いていますが、さらに、実験プロトコルの意味(なぜ、この実験操作が必要なのか、なぜこの順番で実験を行う必要があるのか等)もできるだけ考えてもらうようにしました。来月は、PCRに関する実験体験コースを行う予定です。

今夏から、各々の配属先で自己開発コースが始まりますが、今回の実験体験コースで修得し、学んだことを足掛かりとして、さらに深く、研究に取り組んでほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ  
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp